

FENCEメール誤送信対策サービス

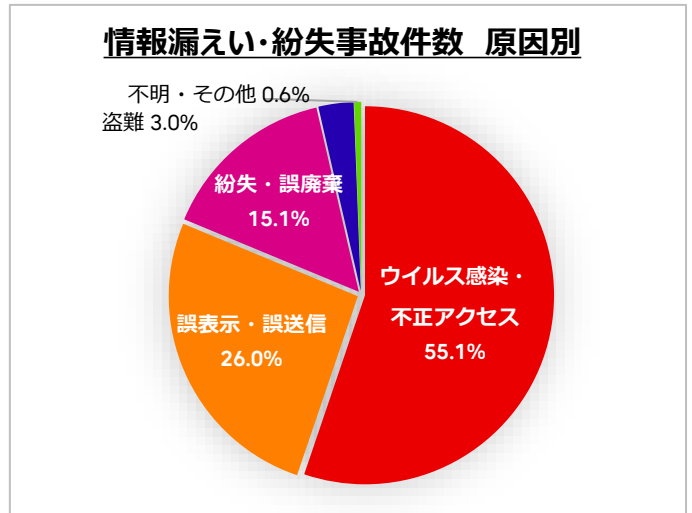
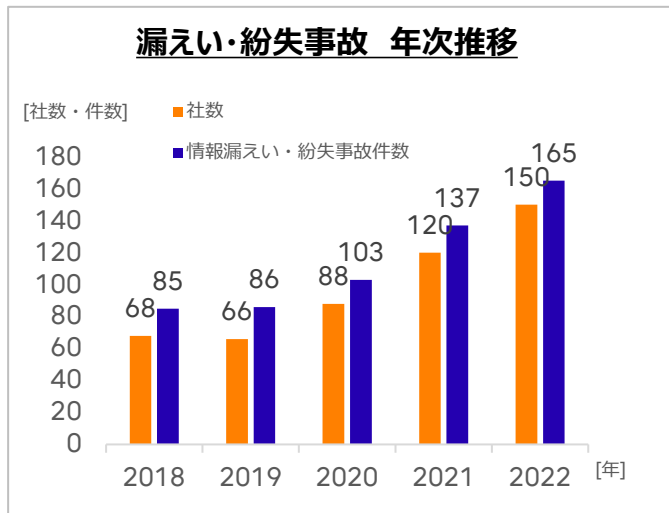
SaaS型サービスで今すぐ簡単安心にメールの誤送信対策を実現

「FENCEメール誤送信対策サービス」をご利用いただくことで、上長承認フローをシステム化。個人情報監査や自動暗号化で誤送信対策や不正持出しを防止します。

情報漏えい事故の状況

情報漏えい・紛失事故の社数と事故件数は、年々増加しています。

2022年の情報漏えい・紛失事故の165件のうち、原因別では、「ウイルス感染・不正アクセス」が最多、「誤表示・誤送信」も上位となっています。

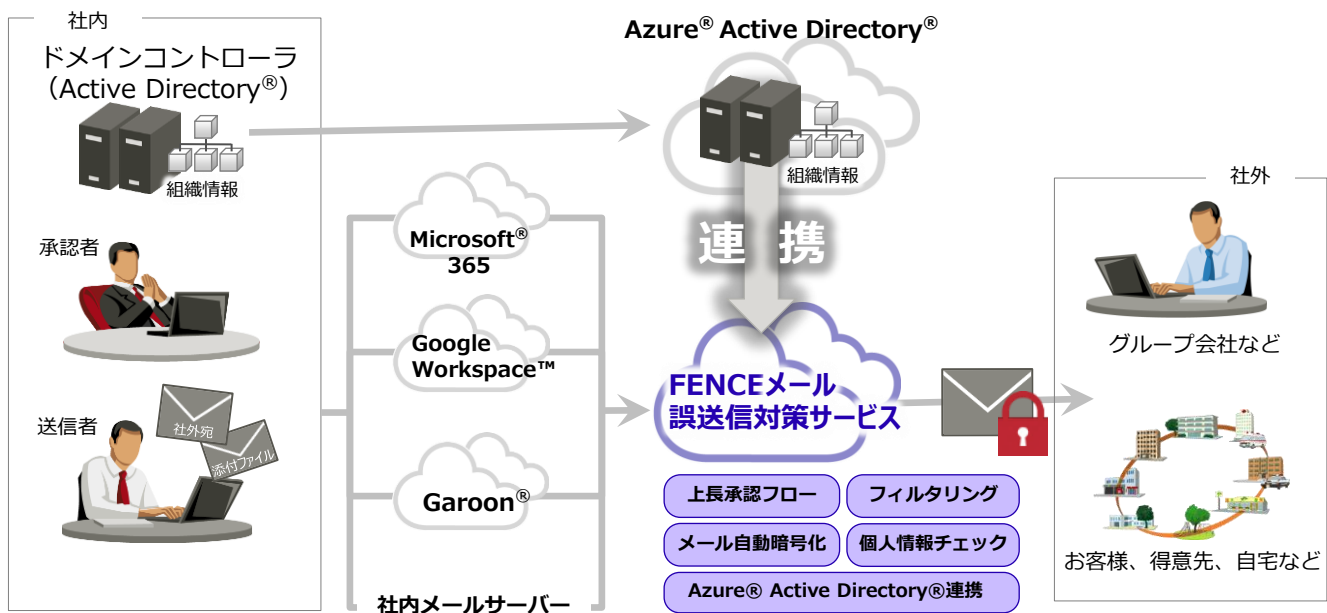


参考：株式会社東京商工リサーチ「個人情報漏えい・紛失事故 2年連続最多を更新 件数は165件、流出・紛失情報は592万人分～2022年「上場企業の個人情報漏えい・紛失事故」調査～」
<https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20230119_01.html> [2022年2月15日確認]

迅速で確実な誤送信対策が急務

FENCEメール誤送信対策サービスの概要

様々なメール環境から社外送信されたメールをFENCEメール誤送信対策サービスにリレーしていただくことで送信メールの誤送信対策が実現できます。



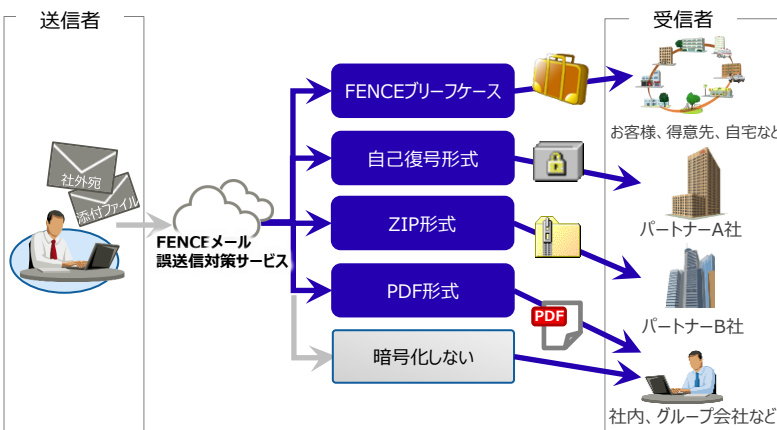
グループウェア連携

Microsoft 365®やGoogle Workspace™等のグループウェアとの連携が可能です。

個人情報チェックやBCC強制追加等、クラウドメールの標準機能では使い勝手の悪さや、対応できないセキュリティ機能に対して、FENCEメール誤送信対策サービスをご利用いただくことでメール誤送信機能を充実させ、セキュリティ面の強化を行うことが可能となります。

	Microsoft365® Business Essentials	Microsoft365® Business Premium	Microsoft365® Enterprise E1/E3/E5	Google Workspace™ Business	本サービス
送信メールの一時保留	○	○	○	△ (保留時間数十秒のみ)	○
添付ファイル・本文の暗号化	○	○	○	× (Enterpriseは可能)	○
個人情報チェック	△	△	△	○	○
上長承認	△	△	△	×	○
Bcc強制追加	×	×	×	○	○

メールの自動暗号化

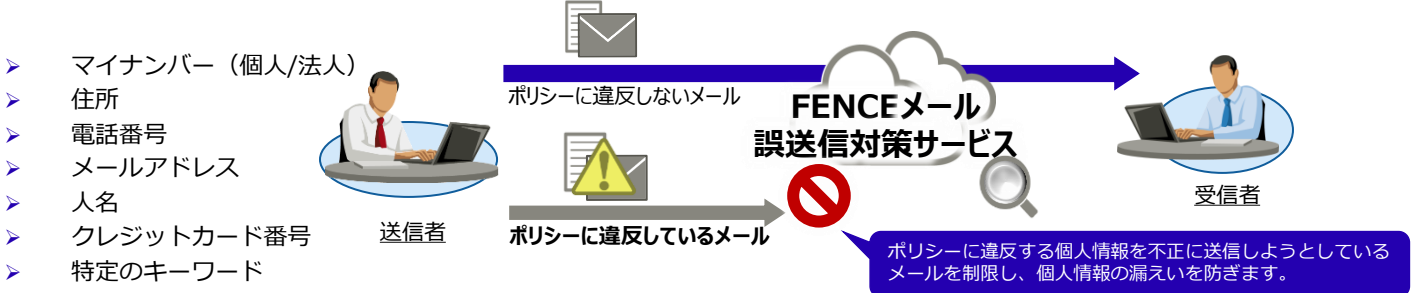


メール本文や添付ファイルを自動でパスワード付きの暗号化ファイルに変換します。

- メール受信者への復号鍵の時間差通知
送信者の作業負担を考慮し、復号鍵を時間差(0-9999分)で自動送信することが可能です。また、送信者が復号鍵情報メールより誤送信を確認後に受信者への自動送信を止めることが可能です。
- 状況に応じて多様な暗号化形式を選択可能
二次流出を防ぎたい場合や本文を暗号化したい場合など、データのセキュリティレベルや受信者に応じて暗号化形式が選択でき、状況に応じたメールの運用が可能です。
- 信頼ある暗号技術
電子政府推奨暗号リストにて指定されているAES256bitの暗号アルゴリズムを採用しています。

個人情報チェック

送信メールのヘッダや本文、添付ファイルに個人情報が含まれているかをチェックします。下記のチェック項目ごとに設定したポリシーに違反する個人情報が含まれていた場合、メールの送信を制限します。



- マイナンバー (個人/法人)
- 住所
- 電話番号
- メールアドレス
- 人名
- クレジットカード番号
- 特定のキーワード

価格

サービス名	標準価格 (税抜き)	
初期設定サービス	初期費用(一括)	83,000 円
基本利用サービス	月額費用	1,660 円/10メールアドレス

マイナンバーは内閣府大臣官房会計課長の登録商標です。
Active Directory、Azure、Microsoft 365 は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Google Workspaceは、Google LLC の商標または登録商標です。
Garoonはサイボウズ株式会社の登録商標です

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200

WEBフォーム) <https://www.fujitsu.com/jp/epss-contact>

受付時間9:00~12:00 および 13:00~17:30 (土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通株式会社 〒211-8588 神奈川県川崎市中原区小田中4-1-1